

片上にもあった山城(やまじろ)

ここ数十年、大河ドラマの影響などで歴史ブームが続いていますが、最近「城」ブームなるものが巻き起こっているのをご存知でしょうか？ 立派な天守のある城から無名の山城までいくつかジャンルがあるのですが、特に山城が雑誌や新聞で注目を集め、竹田城跡(兵庫県)は雲に浮かぶ日本一美しい城として多くの観光客が訪れています。

片上地区にも山城はあったようで、江戸時代の書物には城跡が3ヶ所、館跡が2ヶ所報告されています。青木氏が考古学的にまとめたところによると、文殊山城跡、春日山城跡、城山城跡(四方谷・南井)、丹波岳城跡、城の峰城跡という山城があるそうです。多くは朝倉街道を見下ろす場所にありますので、中世において片上周辺は朝倉氏にとって軍事的に重要な場所であり、有力な武士が付近に住んでいたのかもしれない。

山城は、パワースポットとしても注目を集めています。歴史の裾野は性別に関係なく広がり、時代も変わったものだと感じますね。ただ、もともと城ですから近寄りやすく危険なことに加え、今では草木が生茂っていますので山城歩きには細心のご注意を！

参考 青木豊昭「文殊山とかたかみの歴史」『文殊山とかたかみ』
(文化課 深川義之)



掘割の可能性のある落ち込み(今北山)